

カトリック

学報

第31号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2013. 12. 1



カトリック教育と相対主義

学校法人聖カタリナ学園理事長 中田 婦美子



カトリック教育理念は普遍的価値観としての真理を追求するとき、相対主義のもつ概念とは本質的に相容れないものとして考える。なぜなら、哲学的相対主義は絶対的真理または確実性はないという見解であり、真理は、人・場所・時・環境などの変動する要因に依存しているという。道徳的相対主義は人間行動の不変の原則は存在しないと主張する。その理由として、すべての真理は相対的であって、内在的に悪い行為は存在しない。あるいはすべてのものは習慣や風俗習慣などの要因に依存しているというのである。

ところで、カトリック大学憲章の冒頭に、「カトリック大学に委ねられた特別な役割は、真理の探究と、真理の源をすでに知っているという二つの確信を知的な努力によって実存的に統合することである」と明確に宣言する。カトリック大学は、普遍的ヒューマニズムによって真理のあらゆる側面、神である至高の真理との本質的な関わりにおいてその教育的使命を果たさなければならない。したがって、現代社会において多様な文化と価値観が共存し、科学と技術の急速な進歩によって生み出された結果が、果たして人類に真の善と幸福をもたらして

いるのかという「意味の探究」が求められていると思う。

本学の建学の精神は創立当初から、聖ドミニコと聖カタリナによる神の愛と真理の精神を標榜している。聖ドミニコは当時南欧一帯に蔓延していた異端に対して真理の探究と説教によって神の存在を証明した。そして、聖カタリナは分裂する教会と対立する諸侯との間に対話と和解を通して神と隣人への愛を証したのである。この精神は21世紀の現代化への課題として継承され、本学は世界の正義と平和の問題を神の似姿として創造された人間の尊厳から考え、神と人間との関係におけるキリスト教的人類愛に基づく学問の探究をその使命と考える。

私は本稿において田中耕太郎氏の「教育基本法の原理」から、相対主義がカトリック教育に及ぼしている危機について引用したい。本書はおそらく戦後日本の教育再建のバイブルといわれるほどの貴重な文献であることは今日でも変わらない。彼によれば、「教育の任務は人格形成である以上、その指導原理として人間の理念が存在しなければならない。ところが実証主義的、心理学的、社会学的等の諸方法、諸傾向はこの形而上学的問題を回避してきた。ま

た、文化教育哲学、価値教育哲学も人間の普遍妥当的な使命を認めず、抽象的なものに終わり、相対主義に墮してしまった…この問題と正面から取り組むのは宗教以外にはない。」ということである。そして、彼は人格形成に及ぼす宗教の重要性を強く提唱したのである。彼は敬虔なカトリック信者として戦後の混乱期に文部大臣を務め、後に最高裁判所長官として法の正義の審判者としての任務を果たした。そして、何よりも驚くべきことは戦後の過激な日教組の反対を押し切って真の民主主義国家としての教育理念として、公職にありながら何のはばかりことなく私学におけるカトリック教育の真理と愛の根拠を宣言したことである。日本における少数派のカトリック教育が教育再建に貢献してきた過去の歴史の中で、相対主義が教育に与える脅威について彼はすでに警鐘を鳴らしていたという事実である。

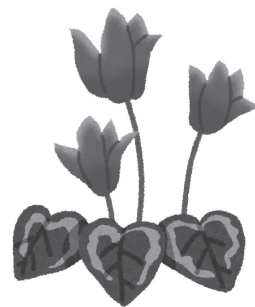
このたび、聖ドミニコ宣教修道女会の総会がローマ本部で開催され、「私たちは福音宣教の特権的場所としてカトリック学校教育を選択し継続する」ことを宣言し、「カトリック学校の基本的理念と政府の教育行政の方針との間の正しい均衡を探究し、教育的奉仕とキリストの愛の証しによってその基本的使命を果たすために努力する」ことを再確認した。そして、現代社会に及ぼす相対主義的影響についても認識することになった。

前教皇ベネディクト16世は若者に対する正義と平和教育論の中で、現代の教育事業を行うにあたり、特にゆゆしき障害となっているのは、現代社会と文化に相対主義が支配していることを指摘している。ある種の文化的相対主義は倫理的多元主義を装い、思考の規範となるいかなる真理を認めず、ただ自己とその好みだけを究極の基準とみなそうとするために、人間の基本的な権利と義務の基盤となる自然道徳法はもはや時代遅れのものと断罪する。それは一見して世に言う平等と公平の正当性を主張しているかのように見えて、実は寛容の価値が悪しき仕方で乱用されているのであって、秩序と責任

を回避した自由はやがて最終的に羅針盤を失った船のように大海を漂うのである。

しかし、カトリック教育的理念において、人間としての真の自由を行使することは、自然道徳法と深く結びついており、「内在する真理」の恩恵を人間は謙虚に受容する存在であることを理解している。したがって、20世紀の世界大戦によって多くの人間の生命と尊厳が否定された根本的な原因は、この相対的個人主義が自然法倫理の原則を逸脱し、権力と富と搾取という際限のない欲望によって、人間の連帯、相互理解、共通善、道徳的規律に関わる人間の尊厳そのものを脅かしてきたといえる。

現教皇フランシスコによる回勅「信仰の光」の中でも、信仰は哲学的相対主義を排除し、「内在する秩序」の基盤の上にたつ創造の深淵な神秘によって、物質的世界と科学的研究と協調する立場を賢明に識別するべきであることを訴えている。本学の保護者であるシエナの聖カタリナもその伝記の中で、「神は永遠から存在する方です。その真理を守るなら、あなたは決して敵に惑わされることなく、あらゆる恵み、あらゆる真理、あらゆる愛を勝ち得ることができる。」と語っている。本学はこの相対主義と対峙しながら、神の愛と真理における「人間の意味そのものの探究」を通して常に自らの刷新も問われていると思う。



●愛媛銀行寄附講座・聖カタリナ大学「風早の塾」前期修了式

7月19日(金)に愛媛銀行寄附講座「風早の塾」の前期の最終講義と修了式が行われました。講義終了後、修了者に修了証の授与が行われました。

この寄附講座は、「健康」をキーワードに「現代を生ききる叡智～生老病死をこえて～」をテーマとし、社会学や心理学、宗教学、医学などの分野で著名な講師を全国から招聘し、学生に加えて一般市民の方も聴講できる講座です。受講料は無料。

後期の講義は9月27日(金)に開始し平成26年1月24日(金)まで計8回開催いたします。



●保育学科リカレントセミナー

8月21日(水)に第14回聖カタリナ大学短期大学部保育学科公開講座「リカレントセミナー」が開催されました。午前と午後2つの選択講座があり、卒業生を含むたくさんの方が参加され、職業上の新たな知識・技術等を学びました。

この公開講座は、幼稚園・保育所・施設等に勤務されている方を対象に、毎年開催しており、社会で活躍されている方の学びたい気持ちを応援しています。

●2013年度大学祭

2013年度大学祭「LINK ～無限のつながり～」が10月25日(金)から27日(日)にかけて開催されました。

大学祭では、学内ミサを皮切りに、講演会・ハーブ演奏会(古佐小基史氏)、パイプオルガン演奏会、多数の模擬店の出店があり、様々な物品や食品等が販売され、地域の方や卒業生などたくさんの方にご来場いただきました。

ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。

●まつやまシニアカレッジ

聖カタリナ大学と松山市社会福祉協議会は、共同企画プロジェクトとして9回目の「まつやまシニアカレッジ」を開講しました。

この講座は、大学での講義や学生生活に興味のある高齢者の方々を対象に、福祉分野の他、幅広いカリキュラムを作成し、より豊かな知識の習得と介護予防のきっかけづくりを目的としています。

●第1回聖カタリナ大学第三者評価委員会を開催

聖カタリナ大学では、日々の活動に対して学外有識者(外部評価委員)に評価・提言をいただき、その意見を本学の大学運営・地域貢献等の質的向上や改善に繋げることを目的として、2013(平成25)年度より第三者評価委員会を開催することとしました。

10月4日(金)には、学長から挨拶を行い、各担当者より教育内容・入試状況・奨学制度・就職等について説明がありました。その後、外部評価委員の方から貴重なご意見・ご提案をいただき、本学出席者と活発な意見交換が行われました。

なお、この貴重なご意見・ご提案を基に、本学における教育・研究・地域貢献活動の改善により一層努めてまいります。



●平成25年度理事長講話を開催

10月17日(木)の理事長講話に、今年度は特別講師として塩釜市社会福祉協議会で震災復興活動に尽力されている卒業生の佐藤友紀氏(平成22年度聖カタリナ大学卒業)をお迎えして、「東日本大震災から2年7ヶ月～被災地の今～」と題した講演をしていただき、震災発生時の状況や被災地の現状等について貴重なお話を伺いました。

また、理事長講話の後、ローマ本部聖ドミニコ宣教修道女会から塩釜市社会福祉協議会へ寄付金が贈呈されました。

◆◆ 平成 25 年度前期行事 (H25.4.1 ~ H25.9.30) ◆◆

月	日	曜	区	行 事	
4	1	月	大	教授会、選考教授会	
			短	教授会	
	2	火		新任教員研修、学生生活委員会	
	3	水		入学式	
			大	人間社会学科会議	
	4	木		オリエンテーション(～4/5)、会計監査(～4/5)	
	5	金		国際交流委員会	
	9	火		就職委員会	
	10	水		国際交流委員会、クラブ活動協議会	
			大	社会福祉学科会議	
	11	木	短	保育学科会議	
	12	金	大	教授会、健康福祉マネジメント学科会議	
	13	土	短	カタリナキャン	
	15	月		人間文化研究所紀要編集委員会	
	17	水		人間文化研究所所員会	
			大	人事委員会	
	18	木		キリスト教研究所所員会	
	19	金		国際交流委員会、広報委員会、教育充実WT会議	
	20	土		理事会	
	22	月		入試・募集委員会、いづみ寮歓迎会	
	24	水		教職員健康診断、図書館委員会	
			大	大学評価委員会	
	26	金		理事会	
			大	教授会、寄附講座①「風早の塾」、カタリナキャン(～4/27)	
	29	月		学園創立記念日	
	30	火		S D委員会	
	5	8	水		会計監査(～5/11)
				大	社会福祉土国試対策講座[4回生]
		10	金	大	教授会、寄附講座②「風早の塾」
				短	教授会、保育学科会議
13		月		ボランティアセンター運営委員会	
14		火	大	拡大大学評価委員会	
15		水		母をたたえる日	
			大	学生生活委員会	
17		金		交通安全講習会	
			大	社会福祉土国試対策講座[4回生]	
22		水		S D委員会	

月	日	曜	区	行 事	
5	22	水	大	社会福祉土国試対策講座[4回生]	
	24	金		学生生活委員会	
			大	寄附講座③「風早の塾」、就職委員会大学部会、学生生活委員会	
	25	土		理事会、評議員会	
	27	月	大	教育実習[社4・マネ4](～6/7)	
			短	幼稚園教育実習[保2](～6/7)	
	29	水	大	社会福祉土国試対策講座[4回生]	
	30	木		大学訪問(北条高等学校2年生)	
	6	3	月		人間文化研究所編集委員会、クラブ活動協議会
		5	水		共同FD委員会
				大	社会福祉土国試対策講座[4回生]
		6	木	短	教授会
7		金	大	教授会、寄附講座④「風早の塾」、社会福祉土国試対策講座[4回生]	
8		土	大	介護実習報告会	
12		水	大	社会福祉土国試対策講座[4回生]	
13		木	短	保育学科会議	
14		金		大学説明会(宇和島)、まつやまシニアカレッジ	
17		月		大学説明会(新居浜)	
			大	精神保健福祉援助実習[社4](～7/2)	
18		火		大学説明会(高知)、大学訪問(豊カタリナ女子高等学校1年生)	
19		水		大学説明会(中村)、教育充実WT会議	
			大	社会福祉土国試対策講座[4回生]	
20		木		大学説明会(八幡浜)	
21		金		大学説明会(本学)、まつやまシニアカレッジ	
			大	大学評価委員会、寄附講座⑤「風早の塾」	
			短	教務委員会短期大学部会	
22	土		オープンキャンパス①、介護技術講習会(～6/23)		
23	日		後援会役員会		
25	火	大	入試・募集委員会		
26	水	大	前期学部年間計画協議会、社会福祉土国試対策講座[4回生]		
27	木	短	入試・募集委員会		
28	金		人間文化研究所フォーラム、まつやまシニアカレッジ、四国インカレ(～6/30)		
29	土		評議員会・理事会、介護技術講習会(～6/30)		
7	2	火		実習連絡協議会	
	3	水	大	社会福祉土国試対策講座[4回生]	
	5	金		四国インカレ(～7/7)	
			大	社会福祉学科会議、人間社会学科会議、寄附講座⑥「風早の塾」	

月	日	曜	区	行 事
7	5	金	短	教授会、保育学科会議
	6	土		学内福祉就職相談会
	8	月		人間文化研究所紀要編集委員会
	9	火		S D委員会
			大	大学評価委員会
	10	水	大	人事委員会、介護福祉士養成施設調査、社会福祉士国試対策講座〔4回生〕
	12	金		まつやまシニアカレッジ
			大	教授会
	13	土		ボランティアウィーク一般公開日、オープンキャンパス②、ぼけっとまつり
	16	火		図書館委員会
			短	保育実習Ⅱ(～7/27)・Ⅲ〔保2〕(～7/29)
	17	水		広報委員会、学生相談室会議
			大	社会福祉士国試対策講座〔4回生〕
	19	金		まつやまシニアカレッジ
			大	寄附講座⑦「風早の塾」、社会福祉士国試対策講座〔4回生〕
	23	火	大	社会福祉学科会議
	24	水	大	社会福祉士国試対策講座〔4回生〕
	25	木	短	愛媛県私立短期大学協会協議会
	26	金	大	教務委員会大学部会、人間文化研究所フォーラム
29	月		人間文化研究所紀要編集委員会	
30	火	大	人事委員会、教授会、選考教授会	
31	水	短	教授会	
8	1	木		夏季休業(～9/20)
	2	金		オープンキャンパス③
	5	月	短	学生生活委員会
	6	火	大	大学評価委員会

月	日	曜	区	行 事
8	7	水	大	社会福祉援助技術現場実習〔社マネスポ3、介4、編4〕(～9/6)
			大	精神保健福祉援助実習〔社4〕(～9/3)
	8	木		聖ドミニコの日
	12	月	大	介護福祉実習〔介2〕(～9/6)
	15	木	大	介護福祉実習〔介3〕(～9/11)
	21	水	短	保育学科公開講座リカレントセミナー
	23	金	大	入試・募集委員会
			短	入試・募集委員会部会
	29	木		奨学制度運営委員会、事務職員研修(防災研修)
			大	奨学制度検討会議
	30	金		事務職員研修(SPOD)
			大	介護技術講習会(～8/31)
	9	4	水	大
10	火		(SPOD) F D研修プログラム(遠隔配信)	
		大	社会福祉士国試対策講座〔4回生〕(～9/12)	
18	水		奨学制度運営委員会	
19	木		ボランティア運営委員会	
		大	社会福祉士国試対策講座〔4回生〕	
20	金		後学期履修ガイダンス	
		大	大学評価委員会	
22	日		オープンキャンパス④	
25	水		S D委員会	
27	金		大学訪問(上浮穴高等学校1年生)、まつやまシニアカレッジ	
		大	教授会、寄附講座⑧「風早の塾」	
		短	教授会、保育学科会議	
28	土		理事会	

◆◇ 人 事 ◇◇

《平成25年7月31日付け》

【退職】

人間健康福祉学部
教授 根上 優
学生支援課
事務職員(非)
スクールソーシャルワーク担当
大場 裕子

《平成25年8月1日付け》

【新規採用】

学生支援課
事務職員(非)
スクールソーシャルワーク担当
片山 養子

◆◆ 平成 25 年度教授会議題 (前期) ◆◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

H25. 4. 1 第1回

1. 退学について
2. 休学について
3. 復学について
4. 除籍について
5. 科目等履修生の受入れについて
6. 聴講生の受入れについて

H25. 4. 12 第2回

1. 聖カタリナ大学人間健康福祉学部健康スポーツ学科の設置について
2. 除籍について

H25. 5. 10 第3回

1. 平成26年度聖カタリナ大学入試概要について
2. 退学について
3. 休学について
4. 復学について
5. 復籍について

H25. 6. 7 第4回

※報告・連絡事項のみ

H25. 7. 12 第5回

1. 聖カタリナ大学研究倫理規程の制定について
2. 科目等履修生の受入れについて

H25. 7. 30 第6回

1. 聖カタリナ大学学則の一部改正について
2. 聖カタリナ大学大学評価委員会規程の一部改正について
3. 聖カタリナ大学研究倫理規程の制定について
4. 前期末卒業予定者について

H25. 9. 27 第7回

1. 前期末卒業予定者について
2. 退学について
3. 休学について
4. 復学について
5. 除籍について
6. 科目等履修生の受入れについて
7. 聴講生の受入れについて

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H25. 4. 1 第1回

1. 卒業の認定について
2. 退学について
3. 除籍について

H25. 5. 10 第2回

1. 平成26年度聖カタリナ大学短期大学部入試概要について
2. 退学について

H25. 6. 6 第3回

※報告・連絡事項のみ

H25. 7. 5 第4回

※報告・連絡事項のみ

H25. 7. 31 第5回

※報告・連絡事項のみ

H25. 9. 27 第6回

1. 退学について
2. 除籍について

◆◆ 平成 25 年度 クラブ等 活動状況 ◆◆

H25.11.01 現在

体育局(部)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	備 考
剣道部	4/14	第68回 国民体育大会剣道競技(成年男女)第1次選考会 第5回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会愛媛県予選会	愛媛県武道館	23	男子：3回戦進出、女子：3回戦進出 女子：ベスト4
	5/19	第60回 中四国学生剣道選手権大会 第45回 中四国女子学生剣道選手権大会	愛媛県武道館	26	男子：吉野瑠平ベスト16(全日本学生剣道選手権大会出場権獲得) 女子：ベスト32
	5/25・26	第58回 西日本学生剣道大会 第28回 西日本女子学生剣道大会	福岡市民体育館	25	男子：2回戦進出 女子：出場
	6/9	第29回 香川近県学生剣道定期大会	香川大学	25	男子：優勝 女子：準優勝
	6/23	第25回 愛媛県女子剣道選手権大会	愛媛県武道館	13	女子：3回戦進出
	6/30	第64回 四国地区大学総合体育大会	鳴門・大塚スポーツパーク	21	男子：準優勝 女子：出場
	7/13・14	第61回 全日本学生剣道選手権大会	大阪府立体育会館	13	男子：吉野瑠平1名出場
	8/25	第60回 中四国学生剣道優勝大会 第40回 中四国女子学生剣道優勝大会	岡山市総合グラウンド桃太郎アリーナ	26	男子：出場 女子：ベスト8
	10/13	第33回 中四国学生剣道新人戦	広島県立総合体育館	14	男子：3回戦進出 女子：ベスト8
硬式テニス部	6/15~26	平成25年度 春季中国四国学生テニス選手権大会予選・本選	広島県内	9	男子：予選出場 女子：予選出場
	7/5~7	第64回 四国地区大学総合体育大会	徳島・大神子テニスセンター	16	男子：出場 女子：4位

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	備 考
硬式テニス部	8/10～14	平成25年度 夏季中国四国学生テニス選手権大会予選	広島県内	4	男子：出場 女子：出場（井本・河野ペア ラックールザー権獲得）
	9/9～12	平成25年度 全日本大学対抗テニス王座決定試合 中国四国地区大会 男子4部・女子5部	広島・山口県内	10	男子：出場 女子：出場
	9/19～22	平成25年度 夏季中国四国学生テニス選手権大会本選	広島県内	2	女子ダブルス：井本・河野ペア出場
	9/28	平成25年度 全日本大学対抗テニス王座決定試合 中国四国地区大会 男子4・5部入替戦	広島県内	9	男子：勝利
聖カタリナ大学 サッカー部	前期	平成25年度 中予サッカーリーグ3部前期	愛媛県内		
	7/6	第64回 四国地区大学総合体育大会	徳島スポーツビレッジ	17	2回戦進出
	後期	平成25年度 中予サッカーリーグ3部後期	愛媛県内		
	10/26・27	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		
卓球部	7/5・6	第64回 四国地区大学総合体育大会	徳島市立体育館	6	男子団体：出場、男子シングルス：3回戦進出、男子ダブルス：3回戦進出 女子シングルス：2回戦進出
	10/12～13	第13回 全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」	駒沢オリンピック公園総合運動場体育館	1	男子：出場
ダンス部	8/10	松山まつり「野球拳おどり」(団体連の部)	松山市内	75	南海放送賞 受賞
	8/18	公演(かなざんどう夏祭り)	かなざんどう	13	
	8/22	公演(和ホスビタル夏祭り)	和ホスビタル	13	
	9/7	公演(なかまふれあい祭り)	なかま共同作業所	13	
	10/27	大学祭 ステージショー	聖カタリナ大学		
なぎなた部	6/23	第68回 国民体育大会岡山県予選会	岡山県立興陽高等学校体育館	1	個人：5位
	8/11	第52回 全日本学生なぎなた選手権大会	丸亀市民体育館	1	個人：ベスト16
軟式野球部	春季	平成25年度 四国地区大学軟式野球連盟春季リーグ戦	香川県内		3勝3敗 ベストナイン：加藤俊平
	7/5～7	第64回 四国地区大学総合体育大会	徳島県内	20	準決勝進出(雨天のため中止)
	秋季	平成25年度 四国地区大学軟式野球連盟秋季リーグ戦	香川県内		2勝2敗1分 ベストナイン：村井一平、丁野樹
	10/26・27	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		
バドミントン部	6/28～30	第64回 四国地区大学総合体育大会	徳島市立体育館	14	男子団体：出場、男子シングルス：出場、男子ダブルス：出場 女子団体：出場、女子シングルス：出場、女子ダブルス：出場

体育局(同好会)

愛媛マラソン走ろう同好会	10/26・27	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		
男子バスケットボール部	5/11・12	平成25年度 全四国大学バスケットボール新人大会	高知県内	13	2回戦進出
男子ハンドボール部	6/29・30	第64回 四国地区大学総合体育大会	鳴門・大塚スポーツパーク	10	出場
男子ハンドボール部	7/6・7	第64回 四国地区大学総合体育大会	鳴門・大塚スポーツパーク	9	出場
バスケットボール同好会	10/26・27	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		

文化局(部)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数
華道部	10/26・27	大学祭 展示	聖カタリナ大学	
琴部	10/27	大学祭 ステージショー	聖カタリナ大学	
茶道部	8/25	24時間テレビ協賛茶会	南海放送本町会館	3
	10/27	大学祭 お茶会	聖カタリナ大学	
宗教研究部	5/15	学内ミサ「母をたたえる日」	聖カタリナ大学	
	5/21	野外ミサ&パーベキュー	聖カタリナ大学	
	10/25～27	大学祭 ミサ・バザー	聖カタリナ大学	
トトロ	7/12	ボランティアウィーク(出店)	聖カタリナ大学	
	10/26・27	大学祭 バザー	聖カタリナ大学	
V・Y・S部	7/12	ボランティアウィーク(出店)	聖カタリナ大学	
	7/21	ボランティア(子どもとの交流)	ファミリーホーム菅沢	4
	9/15	ボランティア(みなら特別支援学校生との交流)	キスケボウル	3
	10/26・27	大学祭 出店	聖カタリナ大学	
フォークソング部	7/12	ボランティアウィーク(ステージショー)	聖カタリナ大学	
	10/26・27	大学祭 ライブ	聖カタリナ大学	
May Club	7/12	ボランティアウィーク(手話コーラス)	聖カタリナ大学	
	10/26・27	大学祭 ステージショー(手話コーラス)・バザー	聖カタリナ大学	

文化局(同好会)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数
地球村	10/26	大学祭 バザー	聖カタリナ大学	
Honey's	10/26・27	大学祭 バザー	聖カタリナ大学	
	5/24	清掃活動	松山市北条周辺	25
はっぴーデザイン研究会	7/5	清掃活動	モンチッチ海岸周辺	20
	10/26・27	大学祭 バザー	聖カタリナ大学	
Mad Clowns	6/20	公演(道後山の手ホテルジャグリングショー)	道後山の手ホテル	5
	7/12	ボランティアウィーク(ジャグリングショー)	聖カタリナ大学	
	7/21	公演(鹿島まつり)	鹿島・伊予北条駅前	8
漫画研究部	10/27	大学祭 ステージショー(ジャグリングショー)	聖カタリナ大学	
	10/26・27	大学祭 出店	聖カタリナ大学	

その他団体

学生ボランティアセンター	7/8～12	ボランティアウィーク	聖カタリナ大学	
--------------	--------	------------	---------	--

◆◆ 研究室探訪 ◆◆

聖カタリナ大学短期大学部
保育学科助教 米野 吉則



本学にご縁をいただきまして、半年が経ちました。愛媛に来る以前は、兵庫県で6年ほど、幼稚園に勤めておりました。幼稚園教諭をしていたわけではなく、養護教諭として勤めていました。いわゆる保健室の先生です。

幼稚園は学校教育なので養護教諭を配置することは可能です。しかし、現実には幼稚園で養護教諭をしている方はわずかで、幼稚園の養護教諭は稀有な存在です。幼稚園にも保健室はあり、そこを拠点に保健活動を展開していました。保健室には、救急用品、身長計などの保健に関わる物はもちろん、絵本、ぬいぐるみ、おもちゃ、ぬり絵なども置いていました。私は保健室に子どもたちが用事はなくても立ち寄れる敷居の低い保健室を目指していました。保健室が特別な場所ではなく、身近な生活空間にしたかったからです。

現在、私の拠点である研究室はというと、あいかわらず研究には関係ないものがたくさんあります。絵本、パペット、けん玉、ペイゴマ、おさかなや恐竜の絵の描かれた石、目玉のおやじ二体、ザリガニ、クワガタ（秋になって最近では動いてくれません）などなど。学生も「先生、けん玉しに来たよ」「ザリガニ動いてないですよ、水槽の水かえましたか」と用もなしに研究室に来てくれます。学生が保育に通じる様々なものに興味を持って欲しいという願いはもちろんあります。それよりも大学の教員になったのだから、学生の現実をもっと身近に感じていきたいと思っています。そして学生が教員の行っている研究に触れたり、目にしたりすることで人生の視野が広がることを願っています。

さて皆さんの中でも、養護教諭はどのような職務をしているのか把握されていない方も多くいるの

ではないでしょうか。ケガの応急手当や健康相談、もしかすると特別支援の先生と思われる方もいるのかもしれませんが。養護教諭は、「児童の養護をつかさどる」と学校教育法に記されています。実際には応急処置、健康相談が主となる職務ではありません。しかし、子どもの成長を促すために、子どものからだ、生活の状況をつぶさに把握し、そこから明らかとなった健康課題に、学校組織の中で積極的に解決へ取り組んでいくということが、本来、養護教諭の職務の根幹になるかと思っています。実際に私が子どもたちと関わる中でも、えっ？と疑ってしまう状況もうかがわれました。朝からすぐに疲れたという、ぐにゃつとなって椅子に座れない、食欲自体あまり感じられない、噛んで食べない、噛むことがぎこちない、つまずいて顔をすりむくなど。決して病気ではないけれども健康ともいいきれない、そんな子どもが存在します。現場の先生が感じている実感レベルの気付きというものは、なかなか表面化されません。むしろ、このような気付きは10年前から継続して問題となっており、健康課題は一向に改善していません。つまり、子どもの健康課題を実感レベルで気づけていても保育や教育になかなか反映されない現状があるのです。

私の研究はこういった現場の実感レベルの「子どものからだのおかしさ」をテーマに幼児期の健康課題について取り組んでいます。担当する授業で「子どものからだのおかしさ」についても取り上げ、学生が保育者として積極的に子どもの健康課題に取り組める専門性をもてるよう、私自身も学生とともに日々精進したいと思っています。



聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地
TEL. 089-993-0702(代)
<http://www.catherine.ac.jp>
編集・発行
広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp